

2018年 司法通訳技能検定試験

(実施案内)

裁判所や警察署を中心とした司法の場での通訳には法律の知識と法律用語の正確な通訳が必要とされる。司法通訳技能検定は、裁判所で行われる裁判での通訳、警察署等で行われる取り調べの際の通訳、弁護士と被疑者・被告人が接見する際の通訳など司法の場での通訳に必要な能力の持主であることの証明となる。



受験資格	誰でも受験できる。 ※ただし、1級は、①同言語2級に合格している方、又は、②[2018年度 司法通訳養成講座]全コースを受講された方に限る。	
試験内容	【4級】/【3級】 は同一の試験で得点に応じて合格等級が決定される。 2級と同時出願可	①日常用語、法律用語等の語彙問題 ②法律知識・司法通訳倫理等の問題(初級・中級) ③通訳場面等の翻訳問題 ④リスニング(接見・法廷を想定した通訳問題)
	【2級】 4級/3級と同時出願可	①日常用語、法律用語等の語彙問題 ②法律知識・司法通訳倫理等の問題(上級) ③法律文書・通訳場面等の翻訳問題 ④リスニング(法廷を想定した通訳問題)
	【1級】 ①同言語2級に合格している方、又は、 ②『2018年度 司法通訳養成講座』全コースを受講された方	①日常用語、法律用語等の語彙問題 ②法律知識・司法通訳倫理等の問題(上級) ③法律文書・通訳場面等の翻訳問題 ④通訳実技(法廷を想定した逐次通訳問題)
試験言語	制限無し。但し、少数言語は実施できない場合がある。 各年度に10か国言語まで実施。10か国言語を超えた場合にはくじ引きによる実施言語を決定。	
指定言語	中国語、韓国語、英語、スペイン語、タイ語、フランス語、ベトナム語、ポルトガル語。(8か国語)	
申込期間	言語限定追加募集(指定言語)：2018年07月16日(月)～2018年08月31日(金) 消印	
申込方法	メール添付 + 郵送 info@japanlawinterpreter.org	
試験期日	2018年10月06日(土)[1級] / 10月07日(日)[2級] / 10月08日(月・休)[3-4級]	
[1級] 時間	①9:30入室→10:00～12:30筆記試験。※法律問題+倫理問題+語学問題 ②13:30入室→13:30～通訳試験。※一人ずつ行う、順番は当日の抽選で決定する。	
[2級]・[3-4級] 時間	①9:30入室→10:00～11:30法律試験(法律+倫理)。※実力判定試験の受験者には「点数振替制度」あり。 ②11:45入室→12:00～13:00語学試験。③14:00入室→14:30～15:30リスニング試験。	
試験会場	東京都内	
受験料	「1級」23,700円、「2級」15,700円、「3-4級」11,700円	
合格率	「1級」33.3%、「2級」36.4%、「3級」66.7%、「4級」87.5% (2017年度)	

お問合せ先

「司法通訳士」試験実施委員会

〒105-0004 東京都港区新橋1-18-2 明宏ビル別館302号室

一般社団法人 日本司法通訳士連合会(JLIA) 内

TEL 03-6205-4928

URL=http://www.japanlawinterpreter.org